

平成26年3月期 決算補足資料



株式会社マネースクウェア・ジャパン (8728)



平成26年3月期第4四半期 業績説明



■ 顧客預り資産は、引き続き過去最高の残高を更新中

- 平成26年3月末：52,524百万円 ⇒ 51ヵ月連続増加
(平成26年4月末においても52ヵ月連続増加中 : 52,891百万円)
- 収益獲得のためのポテンシャルは、継続的にベースアップ

■ 低ボラティリティ相場が続く環境下でも、収益は堅調

- 2Q、3Qと変わらず低ボラティリティ相場にあり、総推移も低調な状態でも注文指値量、ポジション量の増加によって、収益を安定的に確保

■ ブランディングの強化にシフト

- 『全国セミナープロジェクト』横断中〔1月:大阪 2月:福岡・名古屋 3月:大阪〕
(日経CNBC、ラジオNIKKEI、FX攻略.com、FOREX PRESS、みんなの外為 協力)
- 新ブランディング戦略 “Harmony” (ハーモニー)
- 投資家の集える広場 「M2J MIDSQUARE」
- お金について学ぶサイト 「Harmony.jp」

■ 東京証券取引所市場第一部に指定替え (平成26年3月3日)

業績の推移 (四半期毎)

(単位:百万円)	平成24年 3月期	平成25年3月期				平成26年3月期			
	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
営業収益	663	746	579	803	1,588	1,930	1,032	1,000	1,247
営業費用	579	569	555	573	702	599	715	674	813
営業利益	84	176	24	229	886	1,330	316	325	434
営業外収益	1	0	0	3	1	0	2	0	1
営業外費用	2	2	2	2	1	1	2	0	1
経常利益	83	174	21	230	885	1,328	316	325	433
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	6	—	—	—	5	—	—	4	0
税引前四半期純利益	77	174	21	230	880	1,328	316	320	432
四半期純利益	43	103	11	140	545	845	173	195	268
1株当たり四半期純利益 (円)	4.53	10.93	1.20	14.78	57.09	82.42	16.48	18.58	25.37

※ 1株当たり四半期純利益は、平成25年10月1日付で実施した普通株式1株につき200株の株式分割を考慮し、株式分割前の数値についても算定しております。

- 四半期ベースでは過去3番目の営業収益：1,247百万円を計上
- 営業利益(434百万円)、経常利益(433百万円)、四半期純利益(268百万円)も四半期ベースで過去3番目の水準

第4四半期（会計期間）業績の概要

（単位：百万円）	当四半期 （平成26年3月期 4Q）	前年同四半期 （平成25年3月期 4Q）	前年同四半期比 増減率	前四半期 （平成26年3月期 3Q）	前四半期比 増減率
営業収益	1,247	1,588	△21.5%	1,000	+24.7%
営業費用	813	702	+15.7%	674	+20.6%
営業利益	434	886	△51.0%	325	+33.2%
営業外収益	1	1	△13.4%	0	+94.3%
営業外費用	1	1	△6.7%	0	+38.0%
経常利益	433	885	△51.0%	325	+33.3%
特別利益	—	—	—	—	—
特別損失	0	5	△83.3%	4	△81.6%
税引前四半期純利益	432	880	△50.8%	320	+35.0%
四半期純利益	268	545	△50.8%	195	+37.1%
1株当たり四半期純利益（円）	25.37	57.09	△55.6%	18.58	+36.5%

※ 1株当たり四半期純利益は、平成25年10月1日付で実施した普通株式1株につき200株の株式分割を考慮し、株式分割前の数値についても算定しております。

- **営業収益** ……（前年同四半期比）△21.5%（前四半期比）+24.7%
 - 預り資産残高や顧客口座数のベースアップにより、注文指値量、ポジション量とも高水準で推移し収益を確保
 - 高ボラティリティ相場だった前年同四半期比では減少も、同様な相場展開だった前四半期からは上積み
- **営業利益、経常利益、四半期純利益**
 - 営業収益と同様に前年同四半期比では減少しているが、前四半期比ではそれぞれ30%を超える増益

顧客取引高の推移 (四半期毎)

(単位:百万通貨)	平成24年 3月期	平成25年3月期				平成26年3月期			
	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
USD/JPY	1,181.52	1,148.82	809.24	1,734.22	6,296.47	11,548.61	5,436.13	4,751.47	5,107.91
EUR/JPY	829.87	859.06	788.97	1,225.26	2,766.06	2,075.92	1,002.44	868.59	879.95
EUR/USD	329.90	308.23	252.31	251.37	324.21	373.13	279.05	277.04	273.19
AUD/JPY	4,022.75	4,729.14	3,952.80	4,974.99	8,926.27	8,243.29	3,127.56	2,660.40	3,912.66
NZD/JPY	503.28	585.66	420.09	547.59	946.18	1,377.77	899.88	1,485.81	1,844.48
GBP/JPY	330.01	255.71	203.30	443.40	807.08	714.88	463.34	669.55	840.78
HKD/JPY	45.65	20.04	12.45	72.93	225.87	189.03	125.75	107.02	72.95
ZAR/JPY	353.18	379.81	294.50	1,513.69	3,121.16	5,405.87	1,877.48	1,474.12	2,504.04
CAD/JPY	223.93	221.25	114.80	257.97	411.39	340.58	185.67	205.69	232.80
AUD/USD	169.97	134.84	130.11	101.50	133.20	341.17	260.96	152.50	205.56
NZD/USD	37.10	41.51	23.36	30.26	42.60	77.46	80.09	93.48	101.10
計	8,027.15	8,684.06	7,001.92	11,153.15	24,000.49	30,687.72	13,738.36	12,745.67	15,975.40

※1 上記金額は顧客との相対取引による通貨毎の取引高であります。

- ほとんどの通貨ペアが、前四半期に比べて取引高を伸ばしている
- 取引高合計は、ここ2年間では3番目に高い水準となる 15,975.40百万通貨を記録

第4四半期（会計期間）顧客取引高の概要

（単位：百万通貨）	当四半期 （平成26年3月期 4Q）	前年同四半期 （平成25年3月期 4Q）	前年同四半期比 増減率	前四半期 （平成26年3月期 3Q）	前四半期比 増減率
USD/JPY	5,107.91	6,296.47	△18.9%	4,751.47	+7.5%
EUR/JPY	879.95	2,766.06	△68.2%	868.59	+1.3%
EUR/USD	273.19	324.21	△15.7%	277.04	△1.4%
AUD/JPY	3,912.66	8,926.27	△56.2%	2,660.40	+47.1%
NZD/JPY	1,844.48	946.18	+94.9%	1,485.81	+24.1%
GBP/JPY	840.78	807.08	+4.2%	669.55	+25.6%
HKD/JPY	72.95	225.87	△67.7%	107.02	△31.8%
ZAR/JPY	2,504.04	3,121.16	△19.8%	1,474.12	+69.9%
CAD/JPY	232.80	411.39	△43.4%	205.69	+13.2%
AUD/USD	205.56	133.20	+54.3%	152.50	+34.8%
NZD/USD	101.10	42.60	+137.3%	93.48	+8.2%
計	15,975.40	24,000.49	△33.4%	12,745.67	+25.3%

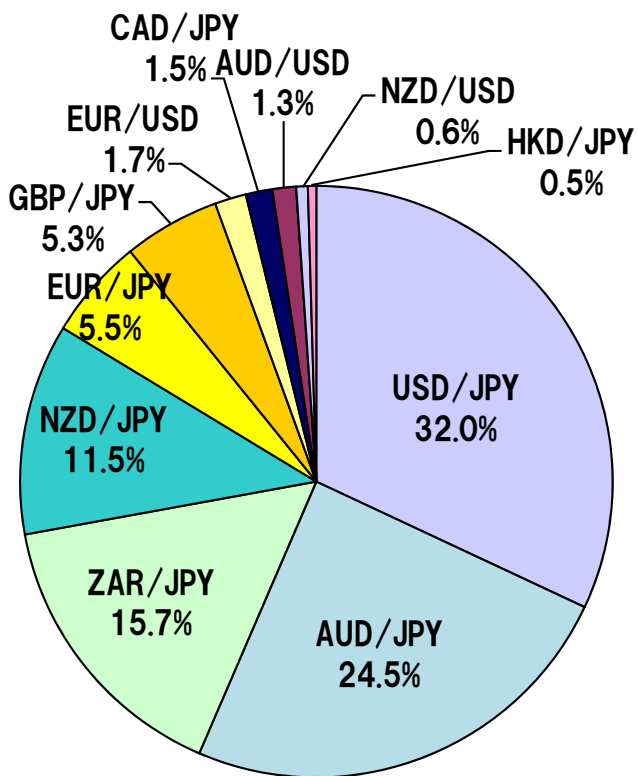
※1 上記金額は顧客との相対取引による通貨毎の取引高であります。

- 顧客取引高・・・（前年同四半期比）△33.4%（前四半期比）+25.3%
- （前年同四半期比）「EUR/JPY」、「AUD/JPY」等では減少だが、利上げ期待感から「NZD/JPY」は取引高が上昇
- （前四半期比）顧客の注文量の増加により、ほぼ全ての通貨ペアで取引高が上昇、とくに「AUD/JPY」、「ZAR/JPY」が復調

通貨ペア別取引高シェア（会計期間）

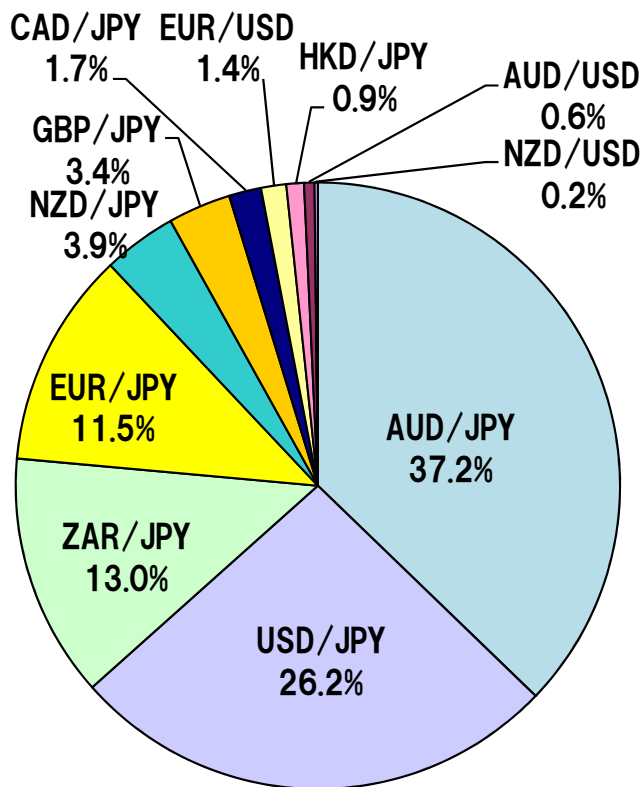
当四半期

（平成26年3月期 4Q）



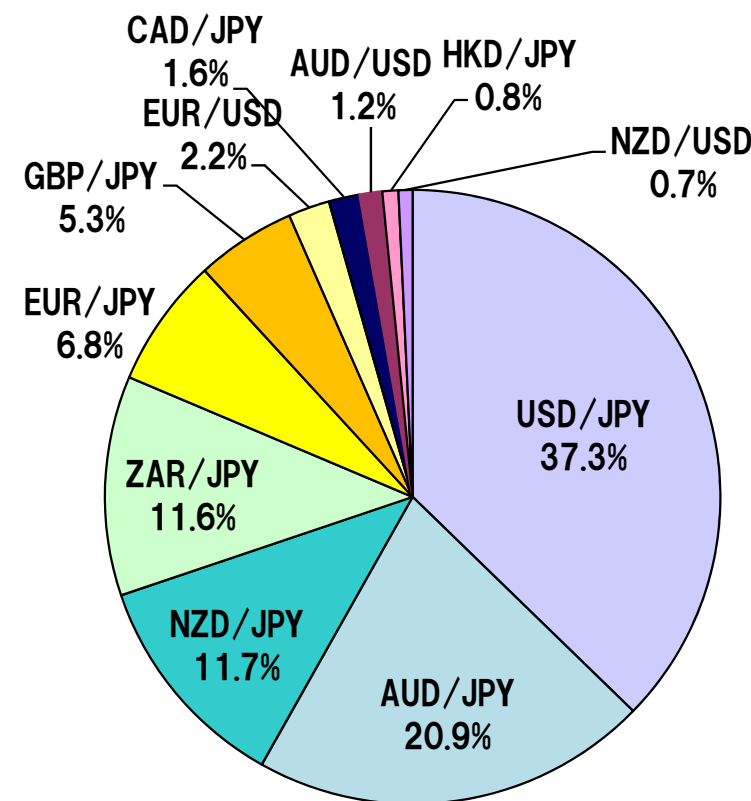
前年同四半期

（平成25年3月期 4Q）



前四半期

（平成26年3月期 3Q）



■ USD/JPY
 ■ EUR/JPY
 ■ EUR/USD
 ■ AUD/JPY
 ■ NZD/JPY
 ■ GBP/JPY
 ■ HKD/JPY
 ■ ZAR/JPY
 ■ CAD/JPY
 ■ AUD/USD
 ■ NZD/USD

- 円安基調で推移した「AUD/JPY」、「ZAR/JPY」がシェアを伸ばし、相対的に「USD/JPY」は若干シェアを落とす
- 主要通貨ペアが、バランス良く分散化されてきている

営業費用の推移 (四半期毎)

(単位:百万円)	平成24年 3月期	平成25年3月期				平成26年3月期			
	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
人件費	177	157	161	162	231	171	181	176	283
広告宣伝費	187	166	160	167	211	137	129	143	164
器具備品費	39	57	52	50	46	45	77	67	82
不動産費	24	23	28	27	27	27	80	71	57
減価償却費	50	44	49	48	50	78	116	69	83
支払手数料/その他報酬	56	73	59	69	79	82	67	73	83
その他	42	46	42	47	56	57	62	72	58
営業費用合計	579	569	555	573	702	599	715	674	813
従業員数の推移(人)	(67)	(71)	(72)	(72)	(74)	(81)	(77)	(76)	(81)

第4四半期（会計期間） 営業費用の概要

（単位：百万円）	当四半期 （平成26年3月期 4Q）	前年同四半期 （平成25年3月期 4Q）	前年同四半期比 増減率	前四半期 （平成25年3月期 3Q）	前四半期比 増減率
人件費	283	231	+22.8%	176	+60.6%
広告宣伝費	164	211	△22.3%	143	+14.6%
器具備品費	82	46	+77.5%	67	+22.5%
不動産費	57	27	+108.7%	71	△20.1%
減価償却費	83	50	+65.8%	69	+20.2%
支払手数料/その他報酬	83	79	+4.8%	73	+14.5%
その他	58	56	+4.0%	72	△20.0%
営業費用合計	813	702	+15.7%	674	+20.6%

● **営業費用** …（前年同四半期比）+15.7%（前四半期比）+20.6%

-- 器具備品費 … 当四半期にデータセンターを移設したことなどで費用が増加

-- 不動産費 … 本社移転により前年同四半期比では増加

-- 減価償却費 … 利用不能となる固定資産の耐用年数を短縮し早期償却

-- 人件費 … 前年同四半期比：7名増 前四半期比：5名増 4Q:決算賞与の支給により一時的に増加

第4四半期（会計期間） キャッシュ・フローの概要

（単位：百万円）	当四半期 （平成26年3月期 4Q）	前年同四半期 （平成25年3月期 4Q）	前年同四半期比	前四半期 （平成26年3月期 3Q）	前四半期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	620	1,066	△446	159	+461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19	△36	+17	△224	+204
財務活動によるキャッシュ・フロー	128	△400	+529	90	+37
現金及び現金同等物の増減額	729	629	+100	25	+703
現金及び現金同等物四半期末残高	4,154	2,037	+2,117	3,425	+729

●営業活動によるキャッシュ・フロー

（主な項目）税引前四半期純利益	： 432百万円	減価償却費	： 83万円
外国為替取引評価勘定（流動資産）の増減額（△は増加）	： △572百万円	顧客預り勘定の増減額（△は減少）	： 2,111百万円
分別管理信託の増減額（△は増加）	： △1,542百万円	未払金の増減額（△は減少）	： 97百万円
前払費用の増減額（△は増加）	： 10百万円		

●投資活動によるキャッシュ・フロー

（主な項目）無形固定資産の取得による支出	： △15百万円	資産除去債務の履行による支出	： △51百万円
差入保証金の回収による収入	： 53百万円	関係会社出資金の払込による支出	： △5百万円

●財務活動によるキャッシュ・フロー

（主な項目）短期借入金による増加	： 200百万円	短期借入金の返済による支出	： △75百万円
長期借入金の返済による支出	： △34百万円	ストック・オプションの行使による収入	： 38百万円

第4四半期（会計期間末）貸借対照表

（単位：百万円）	当四半期末 （平成26年3月期 4Q末）	前年同四半期末 （平成25年3月期 4Q末）	前年同四半期末比 増減率	前四半期末 （平成26年3月期 3Q末）	前四半期末比 増減率
流動資産	52,938	41,618	+27.2%	50,146	+5.6%
有形固定資産	402	187	+115.2%	432	△6.8%
無形固定資産	423	486	△12.9%	465	△9.1%
投資等	259	99	+159.5%	253	+2.1%
固定資産合計	1,085	773	+40.4%	1,151	△5.8%
資産合計	54,024	42,391	+27.4%	51,298	+5.3%
流動負債	48,265	38,234	+26.2%	45,803	+5.4%
固定負債	258	150	+72.2%	301	△14.1%
負債合計	48,523	38,384	+26.4%	46,104	+5.2%
純資産合計	5,500	4,006	+37.3%	5,193	+5.9%
負債・純資産合計	54,024	42,391	+27.4%	51,298	+5.3%
1株当たり純資産（円）	511.65	406.14	+26.0%	489.41	+4.5%

※ 1株当たり純資産額は、平成25年10月1日付で実施した普通株式1株につき200株の株式分割を考慮し、株式分割前の数値についても算定しております。

● 全体の総資産が上昇・・・顧客預り資産の増加が大きな要因

※当社のバランスシートは、顧客から預託を受けた証拠金に係る勘定科目が大半を占めるため、顧客から預託を受ける証拠金額が増加を続け、その割合が拡大すればするほど、自己資本比率が低下する要因になります。そのため、当社において一般的な経営指標として用いられる自己資本比率を参考にする場合には注意が必要です。

● 1株当たり純資産額・・・11四半期連続上昇 ⇒ 500円台を大きく上回る

平成26年3月期(通期)業績説明

■ 相場環境への適応・収益基盤の増強で過去最高の業績を計上

- 営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益 … **過去最高**を更新
- 顧客取引高 … 年間の取引高合計も**過去最高**を更新
- 顧客預り資産 … **過去最高**を更新中、52ヶ月連続(平成26年4月現在)増加中
- 顧客口座数 … 67,000口座を突破、直近は68,000口座超え(平成26年4月現在)

■ ブランディング強化を基に、新規顧客獲得、既存顧客サービス

- 『全国セミナープロジェクト』横断中〔東京、大阪、札幌、名古屋、沖縄、福岡〕
(日経CNBC、ラジオNIKKEI、FX攻略.com、FOREX PRESS、みんなの外為 協力)
- “Harmony” (ハーモニー) 新ブランディング戦略
- 「M2J MIDSQUARE」 始動
- 「Harmony.jp」 お金について学ぶサイト スタート

■ 東京証券取引所市場第一部に指定替え(平成26年3月3日)

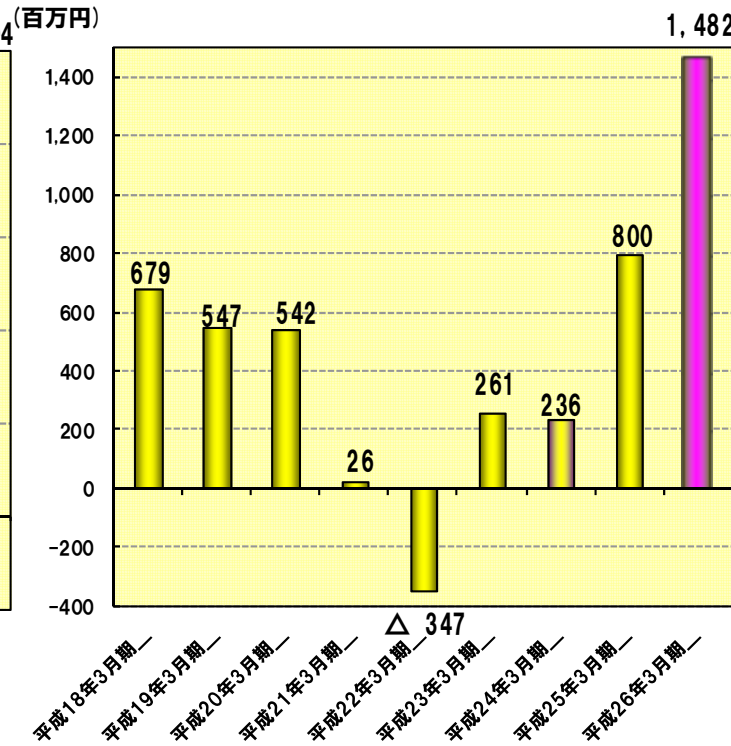
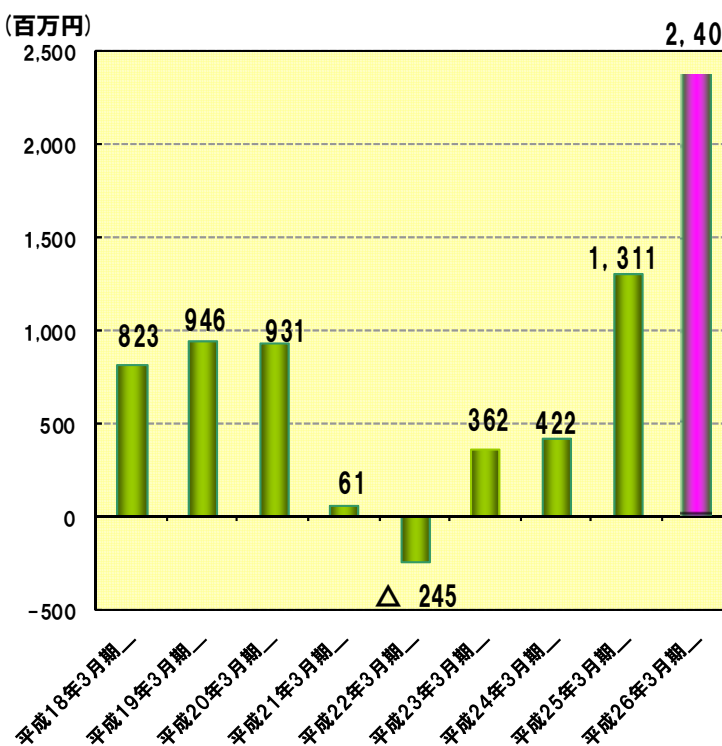
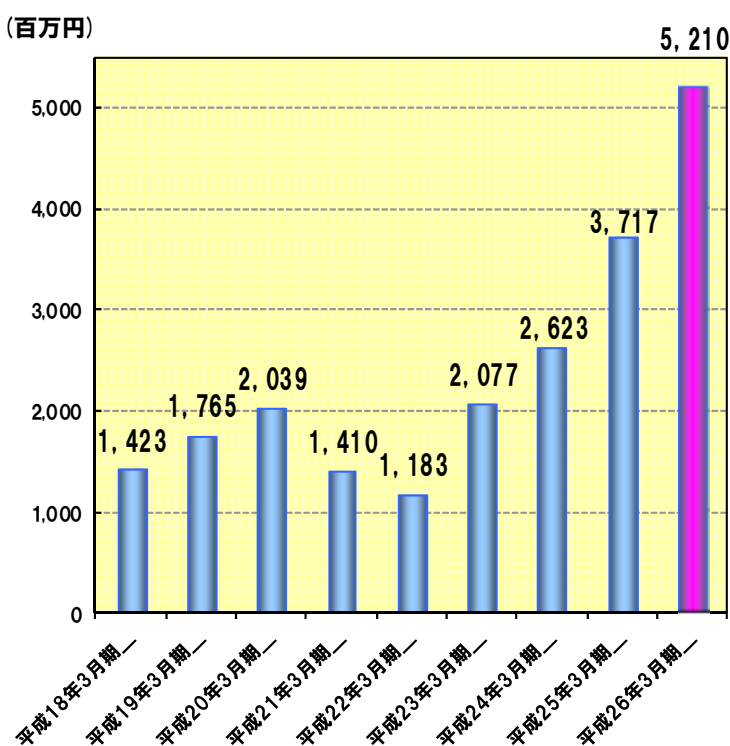
■ 株主還元策

- 年間配当金額 … 1株当たり : 38.50円 (配当性向: 27.2%)
《普通配当: 36.00円 記念配当: 2.50円》
- 株主増加策 … 株主優待制度(中間期)の継続実施を決定

営業収益

経常利益

当期純利益



- **営業収益** … 平成23年3月期から、4期連続過去最高の営業収益を更新
- **経常利益** … 前期の記録を更新し、2期連続過去最高の経常利益を実現
- **当期純利益** … 経常利益と同じく前期の記録を更新し、2期連続過去最高益を達成

平成26年3月期 業績の概要

(単位:百万円)	平成25年3月期	平成26年3月期	前年同期比増減率
営業収益	3,717	5,210	+40.1%
販売費及び一般管理費	2,401	2,802	+16.7%
営業利益	1,316	2,407	+82.9%
営業外収益	4	3	△15.6%
営業外費用	9	6	△30.1%
経常利益	1,311	2,404	+83.3%
特別利益	—	—	—
特別損失	5	5	+7.6%
税引前当期純利益	1,306	2,398	+83.6%
当期純利益	800	1,482	+85.1%
1株当たり当期純利益 (円)	84.16	141.58	+68.2%

※ 1株当たり当期純利益は、平成25年10月1日付で実施した普通株式1株につき200株の株式分割を考慮し、株式分割前の数値についても算定しております。

● **営業収益** … (前年同期比) +40.1%

- 高ボラティリティ時は「トラリピ®」「らくトラ®」が収益機会を逃さず、相場情報や戦略/戦術情報の提供により取引増加
- 低ボラの環境下でも、預り資産残高の増加、高水準にある注文指値量、ポジション量により収益のベースアップを実現

● **営業利益・経常利益** … 営業費用を前年同期比 +16.7% に抑制し、2期連続して過去最高益となり80%を超える増益

● **当期純利益** … 同じく2期連続して過去最高益となり85%強の増益、1株当たり当期純利益も大幅に上昇

顧客取引高の概要（累計期間）

（単位：百万通貨）	平成25年3月期	平成26年3月期	前年同期比増減率
USD/JPY	9,988.74	26,844.12	+168.7%
EUR/JPY	5,639.36	4,826.89	△14.4%
EUR/USD	1,136.12	1,202.42	+5.8%
AUD/JPY	22,583.20	17,943.92	△20.5%
NZD/JPY	2,499.52	5,607.93	+124.4%
GBP/JPY	1,709.49	2,688.56	+57.3%
HKD/JPY	331.29	494.75	+49.3%
ZAR/JPY	5,309.16	11,261.51	+112.1%
CAD/JPY	1,005.41	964.74	△4.0%
AUD/USD	499.65	960.19	+92.2%
NZD/USD	137.69	352.13	+155.7%
計	50,839.62	73,147.16	+43.9%

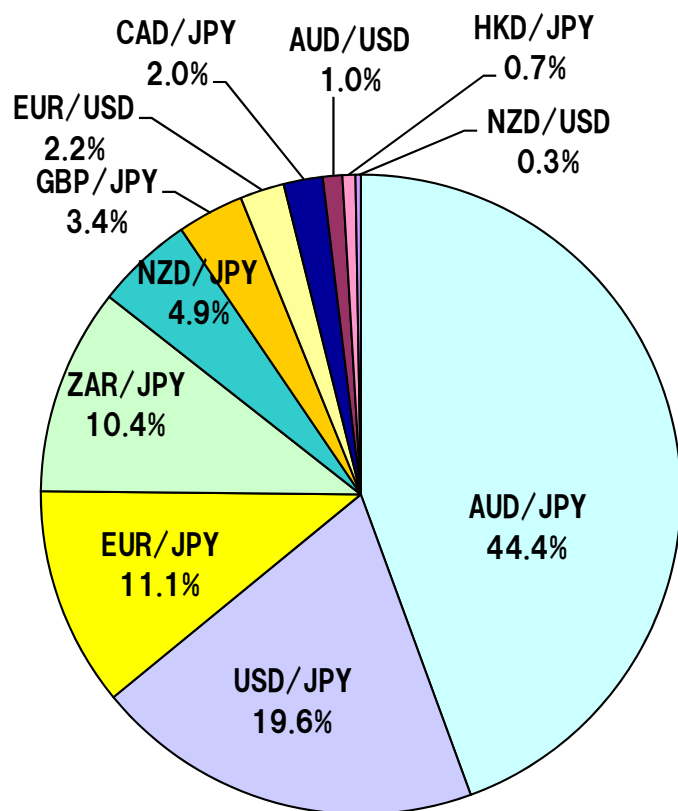
※1 上記金額は顧客との相対取引による通貨毎の取引高であります。

● **取引高合計・・・（前年同期比）+43.9%**

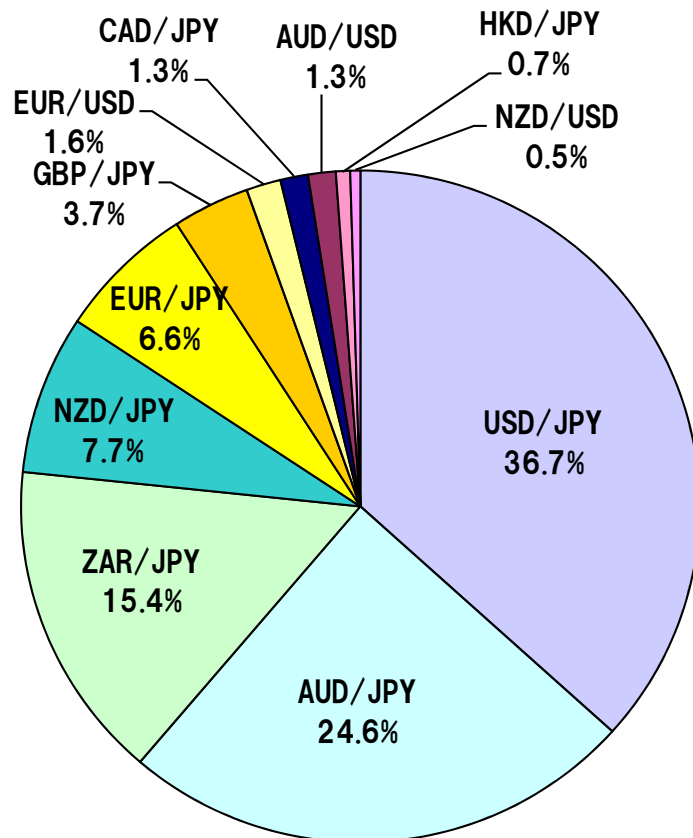
- アベノミクス以降、メディア等でも注目度の上昇した「USD/JPY」が取引の中心に返り咲き、取引高を大きく伸ばす
- 他の通貨ペアへの取引の分散化が進み、「AUD/JPY」の取引高は前年同期比マイナスになるものの、高水準はキープ
- 「せま割5」の効果で「ZAR/JPY」の取引高は倍増、「NZD/JPY」も大きく取引高を伸ばす

通貨ペア別取引高シェア (累計期間)

平成25年3月期



平成26年3月期



	シェア増減 (前年同期比)
USD/JPY	+17.1%
EUR/JPY	△4.5%
EUR/USD	△0.6%
AUD/JPY	△19.8%
NZD/JPY	+2.8%
GBP/JPY	+0.3%
HKD/JPY	変わらず
ZAR/JPY	+5.0%
CAD/JPY	△0.7%
AUD/USD	+0.3%
NZD/USD	+0.2%

■ USD/JPY
 ■ EUR/JPY
 ■ EUR/USD
 ■ AUD/JPY
 ■ NZD/JPY
 ■ GBP/JPY
 ■ HKD/JPY
 ■ ZAR/JPY
 ■ CAD/JPY
 ■ AUD/USD
 ■ NZD/USD

● 「USD/JPY」が「AUD/JPY」を逆転してトップシェアとなるも、各通貨ペアへの分散化が進み、バランスが良化

営業費用の概要（累計期間）

（単位：百万円）	平成25年3月期	平成26年3月期	前年同期比増減率	今後の営業費用の動向
人件費	713	813	+14.0%	平成27年3月期1Qの営業費用の動向は、新卒入社5名などによる人件費の増加、新規顧客獲得のためのブランディング強化や顧客サービス強化のための費用、預り資産残高の増加に伴う信託報酬の増加や第1四半期特有の株主総会関連費用、さらに組織再編に向けてのコンサルティングFeeや各種報酬の支払いなどを見込んでおり、おおよそ670～720百万円前後を想定しております。ただし、営業収益の増減に伴い、または、実際のコスト発生時に厳選なコスト管理を行うことなどにより見込み金額に増減が生じる可能性があります。
広告宣伝費	704	573	△18.6%	
器具備品費	206	272	+32.0%	
不動産費	107	237	+121.8%	
減価償却費	194	347	+78.8%	
支払手数料/その他報酬	281	306	+8.9%	
その他	193	251	+29.9%	
営業費用合計	2,401	2,802	+16.7%	

● **営業費用** …（前年同期比）**+16.7%**

- 人 件 費 … 従業員数 74名（平成25年3月期末）⇒ 81名（平成26年3月期末）
- 広告宣伝費 … 前期まで実施していたTV等の広告を控え、WEBや雑誌等への効果的な露出にシフトしたことで減少
- 器具備品費 … 本社移転に伴う購入やデータセンターの移設に伴う購入等
- 不 動 産 費 … 本社移転、それに伴う旧本社・M2Jベイスクエアと新本社との家賃二重発生期間が発生したこと等で増加
- 減価償却費 … 本社移転等により利用不能となる固定資産の耐用年数の見直し等による増加
- そ の 他 … 本社移転等による固定資産購入に伴う消費税の増加や、その他全般的に費用増に伴う増加

キャッシュ・フローの概要（累計）

（単位：百万円）	平成25年3月期	平成26年3月期	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,374	2,121	+747
投資活動によるキャッシュ・フロー	△529	△680	△151
財務活動によるキャッシュ・フロー	△337	676	+1,013
現金及び現金同等物の増減額	507	2,117	+1,609
現金及び現金同等物期末残高	2,037	4,154	+2,117

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

（主な項目）税引前四半期純利益	： 2,398百万円	減価償却費	： 347百万円
外国為替取引評価勘定（流動資産）の増減額（△は増加）	： △691百万円	外国為替取引評価勘定（流動負債）の増減額（△は減少）	： △140百万円
分別管理信託の増減額（△は増加）	： △8,467百万円	顧客預り勘定の増減額（△は減少）	： 9,289百万円
未払金の増減額（△は減少）	： 66百万円	法人税等の支払額	： △689百万円

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

（主な項目）定期預金の預入支出or払戻収入の差額	： 400百万円	定期預金の担保差入による支出	： △400百万円
固定資産（有形・無形）取得による支出	： △448百万円	資産除去債務の履行による支出	： △72百万円
差入保証金の差入による支出	： △231百万円	差入保証金の回収による収入	： 77百万円

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

（主な項目）短期借入金の借入or返済の差引による純増額	： 455百万円
長期借入金の借入or返済の差引による支出	： 210百万円
配当金の支払額	： △219百万円
ストック・オプションの行使による収入	： 230百万円

主な経営指標等の推移（直近3ヵ年）

	平成24年3月期		平成25年3月期		平成26年3月期	
	23/9	24/3	24/9	25/3	25/9	26/3
営業収益営業利益率 (%)		16.5		35.4		46.2
1株当たり当期純利益 (EPS) (円)		24.07		84.16		141.58
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)		7.5		22.5		31.4
自己資本比率 (%)		10.2		9.3		10.1
1株当たり純資産 (BPS) (円)		332.54		406.14		511.65
1株当たり年間配当金 (円)		1,800		4,500		38.50
配当性向 (%)		37.4		26.7		27.2
純資産配当率 (DOE) (%)		2.8		6.1		8.4
発行済株式総数 (株)		54,591		54,591		10,918,200
自己株式 (株)		7,053		5,844		202,200
自己資本規制比率 (%)		485.5		419.8		683.2

※ 1株当たり当期純利益・1株当たり純資産は、平成25年10月1日付で実施した普通株式1株につき200株の株式分割を考慮し、株式分割前の数値についても算定しております。

● 主な経営指標等の推移について（平成26年3月期）

- 営業収益営業利益率、1株当たり当期純利益、自己資本当期純利益率
 - … 営業収益の大幅増加に起因して、営業利益・当期純利益が大幅増加したことに伴い各数値が上昇
- 自己資本比率
 - … 顧客預り勘定の増加による総資産額の増加はあるものの、純資産額の上積みもあり数値は上昇
- 1株当たり純資産
 - … 当期純利益1,482百万円やストック・オプションの行使に伴い純資産額が大幅増加したことで大幅増額
- 1株当たり年間配当金
 - … 普通配当:36円00銭 記念配当:2円50銭
- 自己資本規制比率
 - … 引き続き高い自己資本規制比率を維持

顧客預り資産の推移

顧客預り資産

前年同四半期末比 **126.9%**

平成25年3月期4Q 41,401百万円 → 平成26年3月期4Q 52,524百万円

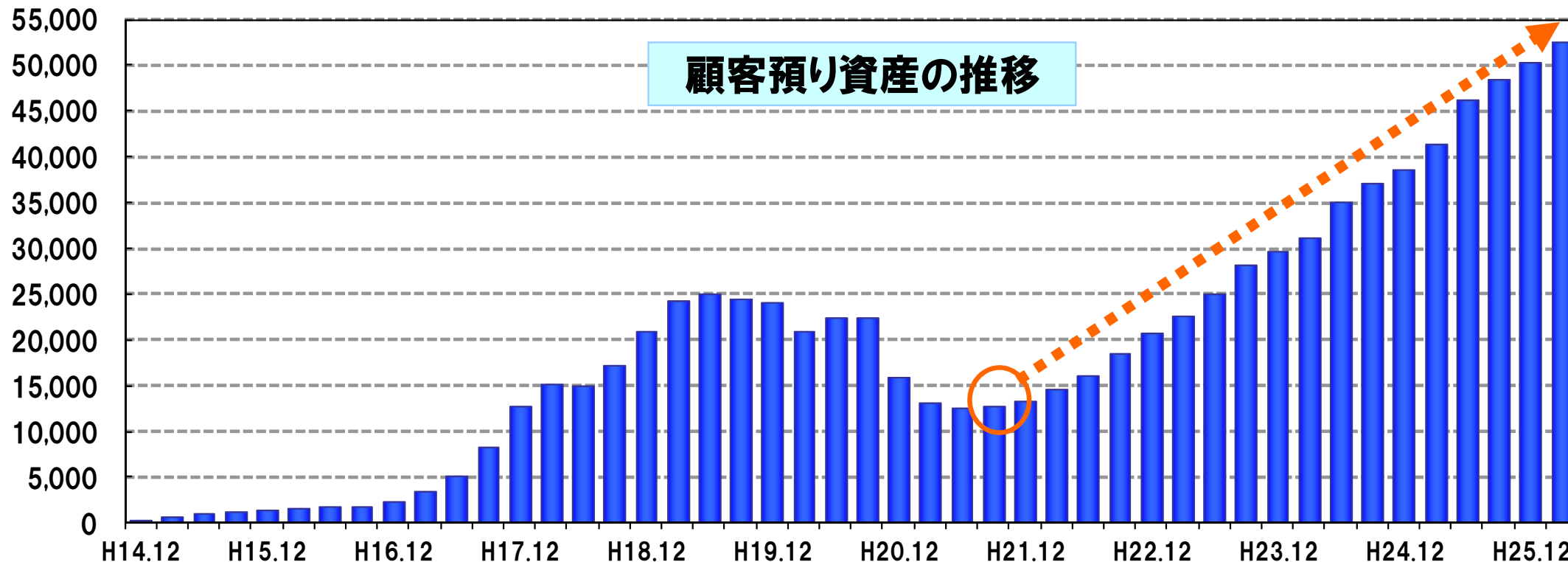
前四半期末比 **104.4%**

平成26年3月期3Q 50,312百万円 → 平成26年3月期4Q 52,524百万円

(単位:百万円)

	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
3月	14,595	22,685	31,279	41,401	52,524
6月	16,161	25,025	35,154	46,207	
9月	18,499	28,212	37,170	48,422	
12月	20,725	29,671	38,706	50,312	

(百万円)



● 平成22年3月期1Q (H21.6) を底に**19四半期連続**して増加。創業来の残高を更新中で、直近月次では528億円台、**52ヶ月連続増加**

顧客口座数の推移

顧客口座数

前年同四半期末比 **121.5%**

平成25年3月期4Q 55,754口座 → 平成26年3月期4Q 67,718口座

前四半期末比 **106.3%**

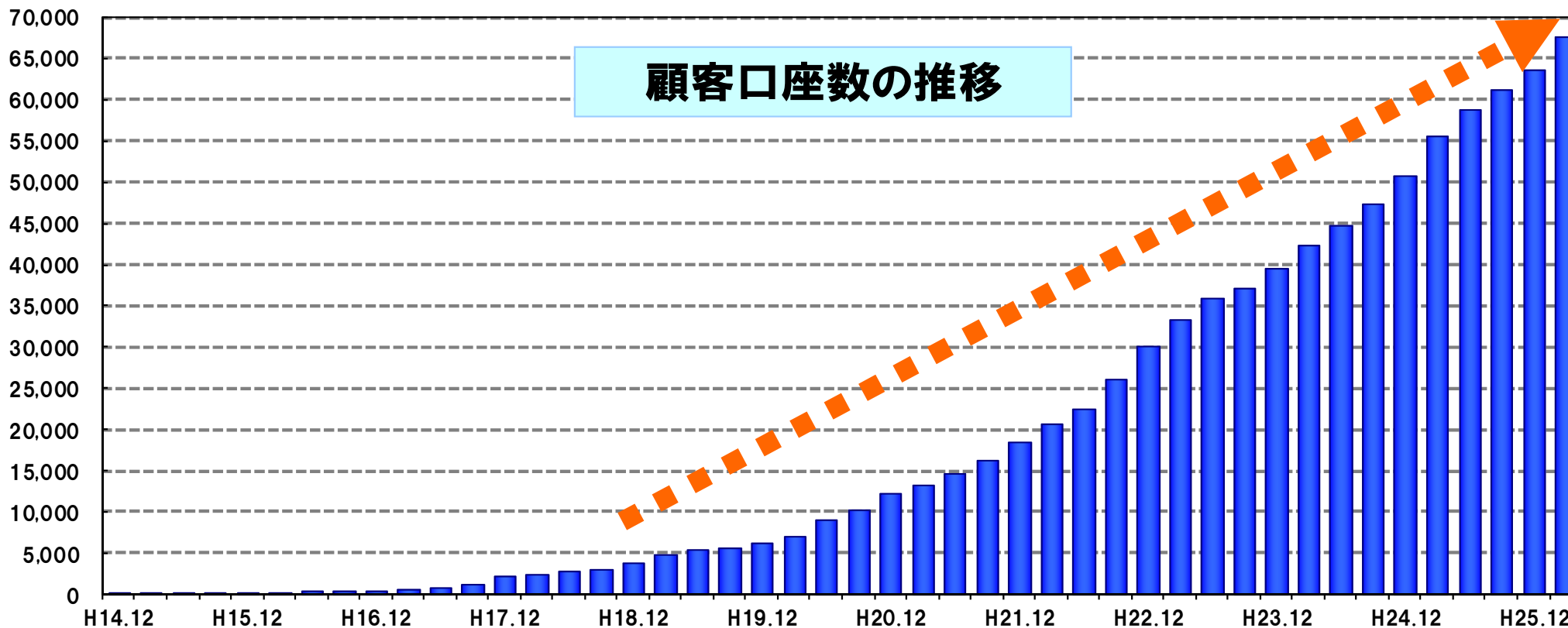
平成26年3月期3Q 63,728口座 → 平成26年3月期4Q 67,718口座

(単位:口座)

	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
3月	20,638	33,331	42,328	55,754	67,718
6月	22,618	36,017	44,746	58,821	
9月	26,209	37,278	47,459	61,332	
12月	30,141	39,566	50,900	63,728	

(口座)

顧客口座数の推移



● 顧客口座数は順調に拡大を続け、直近月次では68,000口座を突破

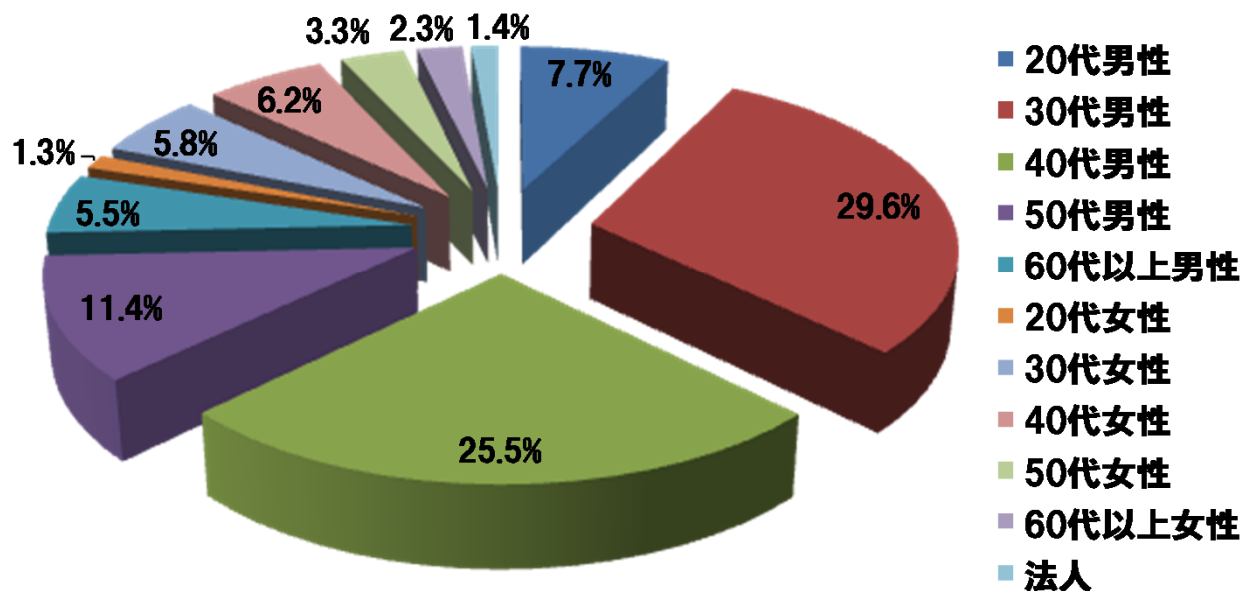
年代別・男女別 顧客分布状況

※平成26年3月期第4四半期末時点

M2JFX

(単位:口座)	20代	30代	40代	50代	60代以上	小計	個人合計	法人	合計
男	5,189	20,066	17,298	7,752	3,753	54,058	66,791	927	67,718
女	882	3,903	4,167	2,232	1,549	12,733			

年齢構成



● 当社顧客平均年齢
 男性: 41.6歳
 女性: 44.2歳
 全体: 42.1歳
 【前四半期 全顧客平均: 41.2歳】

地域別顧客(個人)分布図

※平成26年3月期第4四半期末時点

全国(合計)	顧客数	比率(対全国)
	66,791	100.0%

海外	顧客数	比率(対全国)
	15	0.0%

中国(小計)	顧客数	比率(対全国)
	2,959	4.4%
岡山県	901	1.3%
広島県	1,208	1.8%
鳥取県	227	0.3%
島根県	204	0.3%
山口県	419	0.6%

九州(小計)	顧客数	比率(対全国)
	5,552	8.3%
福岡県	2,211	3.3%
佐賀県	253	0.4%
長崎県	344	0.5%
大分県	408	0.6%
熊本県	533	0.8%
宮崎県	274	0.4%
鹿児島県	445	0.7%
沖縄県	1,084	1.6%

四国(小計)	顧客数	比率(対全国)
	1,481	2.2%
香川県	498	0.7%
徳島県	303	0.5%
愛媛県	454	0.7%
高知県	226	0.3%

北陸甲信越(小計)	顧客数	比率(対全国)
	3,193	4.8%
新潟県	680	1.0%
富山県	458	0.7%
石川県	491	0.7%
福井県	370	0.6%
山梨県	294	0.4%
長野県	900	1.3%

北海道(小計)	顧客数	比率(対全国)
	2,017	3.0%

東北(小計)	顧客数	比率(対全国)
	2,538	3.8%
青森県	294	0.4%
岩手県	333	0.5%
秋田県	249	0.4%
宮城県	866	1.3%
山形県	343	0.5%
福島県	453	0.7%

北関東(小計)	顧客数	比率(対全国)
	2,632	3.9%
茨城県	1,200	1.8%
栃木県	743	1.1%
群馬県	689	1.0%

① 首都圏(小計)	顧客数	比率(対全国)
	26,959	40.4%
埼玉県	3,936	5.9%
千葉県	3,825	5.7%
東京都	12,523	18.7%
神奈川県	6,675	10.0%

② 近畿(小計)	顧客数	比率(対全国)
	11,738	17.6%
滋賀県	691	1.0%
京都府	1,325	2.0%
大阪府	5,313	8.0%
兵庫県	3,325	5.0%
奈良県	701	1.0%
和歌山県	383	0.6%

③ 東海(小計)	顧客数	比率(対全国)
	7,707	11.5%
岐阜県	891	1.3%
静岡県	1,586	2.4%
愛知県	4,455	6.7%
三重県	775	1.2%

※顧客数の単位:口座



株式会社マネースクウェア・ジャパン (M2J)

IRに関するお問合せ : 業務管理部 IR/広報チーム



03-3470-5050 (代表)



ir@m2j.co.jp

本資料は平成26年3月31日現在のデータ（一部を除く）に基づいて作成されております。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により、変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料の著作権及びその他の資料に関する一切の権利は、当社に帰属します。



MONEY SQUARE JAPAN